モニタリング記録票（R3秋・猿島）

調査日：令和3年11月05日（金）9：30～12：40		天候：晴れ	気温：17℃（10：00時点）
記録者：自然環境共生課		協力者：三浦半島自然保護の会、猿島公園専門ガイド協会	

① ウミウ

生息確認数：　49　羽（R2秋：49羽）

コメント（その他の鳥の種名・数など）：
正面33羽、北側の岩壁16羽
アオサギ1羽
ハヤブサ１羽

② マダケ（広がり方の確認）

地図に（緑）で図示

前年と比較して変化が（ある）・ ない ）
変化の内容：
・少し広がった
・北側は刈られているが、南側は刈られていないため成長したのか、春より増えたように感じる
・通路が暗くなりコケが生えている
・途中をすくのではなく、前線を食い止めることが大事（広げないために）

③ 壁面のシダの様子

壁面上部の倒木・伐木（ 有 ・（無））（変化なし）
シダ類以外の植物　（（増）・ 減 ・ 変化なし）

コメント（その他植物名、日照状態など）：
日向と日影のギャップが大きい
日向は乾燥してシダ植物が生えない
ウチワゴケ
アサギマダラ

④ キジョラン

地図に（青）で図示
食痕がある地点は色を変え図示

コメント：
花、実、種を複数発見した
増えているように感じた（猿島ガイドさんたちが、伐採しないよう公園管理者に伝えているのも一因と考えられる）

⑤ イソギク

地図に（赤）で図示

その他海岸植物：
ラセイタソウ、ツワブキ、ウラシマソウ実
センニンソウ、ハマボッス、ハチジョウススキ
ツルナ

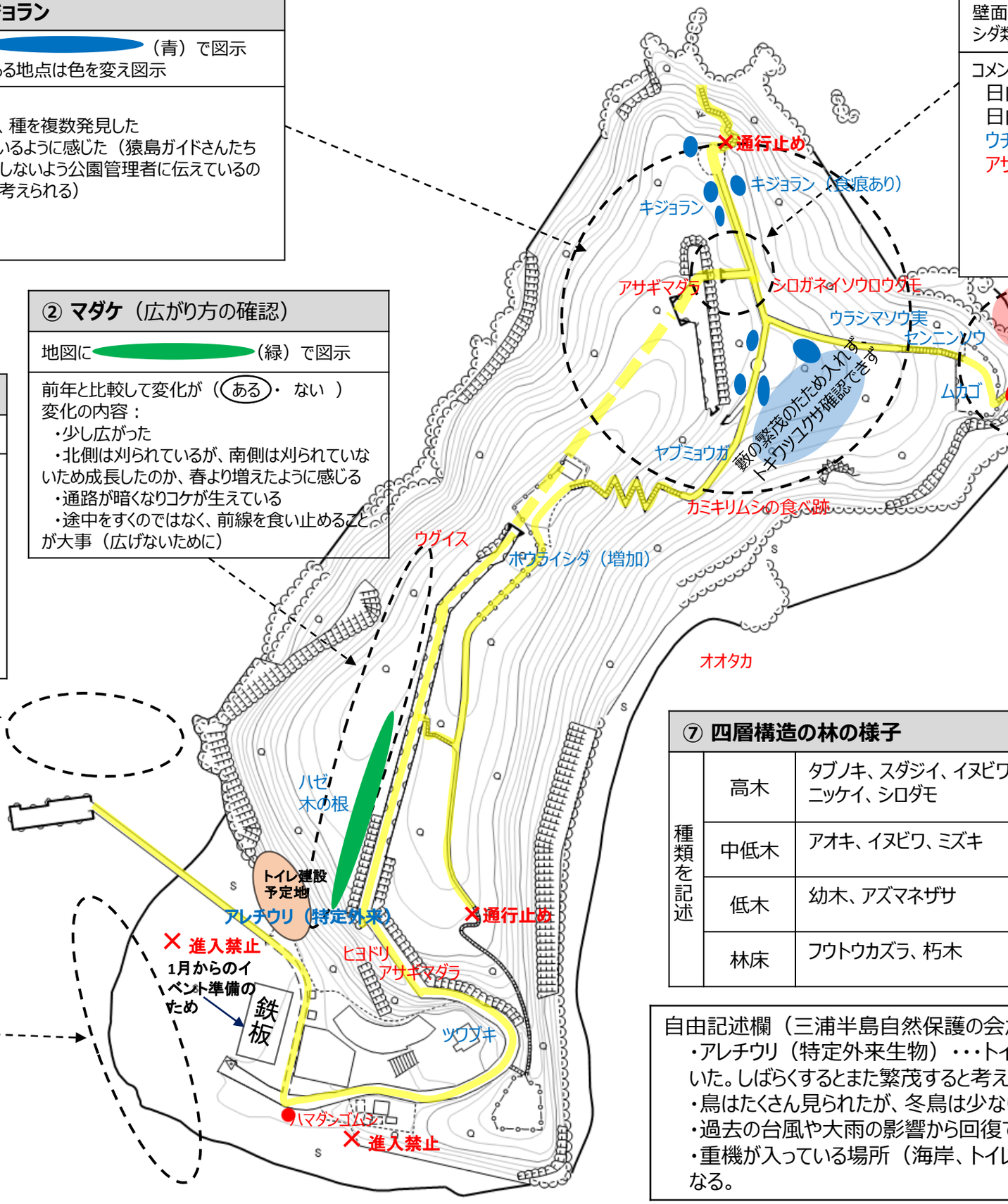
⑥ 海岸打ち上げ物

人工物と自然物の割合＝　0.5：9.5
海藻・海草：　2　種類
生物の遺骸：　　種類

打ち上げ物の種名と数：
（＋：若干、＋＋：十数、＋＋＋：無数）
ハマダンゴムシ＋
ハマトビムシ＋
マクサ＋＋＋
アマモ＋
人工物やごみは少なく、浜はきれい

⑦ 四層構造の林の様子

種類を記述		
	高木	タブノキ、スダジイ、イヌビワ、ヤブニッケイ、シロダモ
	中低木	アオキ、イヌビワ、ミズキ
	低木	幼木、アズマネザサ
	林床	フウトウカズラ、朽木

生息する鳥類、昆虫類など：
・ヤブニッケイは切られて、幹にキノコが生えている。
・ヤブニッケイが切られてできたギャップが、ミズキにより埋められつつある。

自由記述欄（三浦半島自然保護の会からのコメント）
・アレチウリ（特定外来生物）・・・トイレ建設準備により根本が伐採され、枯れていた。しばらくするとまた繁茂すると考えられる。
・鳥はたくさん見られたが、冬鳥は少ない（モズ、ホオジロなどはこれから）。
・過去の台風や大雨の影響から回復できていないところがまだある。
・重機が入っている場所（海岸、トイレ建設予定地）が植生に与える影響が気になる。